

2024年12月7日(土) 箱根駒ヶ岳 (1356 m)・彫刻の森美術館

～Report by 高橋(雄)～

クマさん会の今年の忘年会はフォレスト箱根で行った。それに向かうコースとして、A:金時山、B:箱根駒ヶ岳・彫刻の森美術館、C:ホテル直行の3つを実施した。このレポートはB:箱根駒ヶ岳・彫刻の森美術館組のものである。このコースの参加者は、熊本さん、安部さん、高橋文さん、石井さん、私の5人。



朝、小田原駅バス乗り場5番で待ち合わせ。

8:50発、箱根園行きのバスに乗車。

←安部さんは小田原駅に新幹線で来て、早く着いたので、近くの小田原城を見に行ってきたそうだ。



バスから見える箱根路の沿道の紅葉は見ごろだった。
12月なのに今年は遅れているようだ。
快晴の青空に紅葉がよく映える。



9:42 大涌谷を通過。富士山が見えた。
ちょうどこの時刻は金時山組が乙女峠バス停に着いて、同じ富士山を撮っていた。↓





10:06

バスの終点、箱根園に着いて、箱根駒ヶ岳ロープウェーの入口でスタート写真。



10:20 発のロープウェーに搭乗。



ロープウェーからは富士山も見えたが、頂上付近の雲は増えてきている。



10:31 山頂駅。

駒ヶ岳神社をバックにパチリ。

風が強くて寒い。



山頂の神社へ上がっていき、お参り。



富士山

快晴の富士山を撮りたかったが、富士山方向の雲は益々増えて、残念ながら富士山は暗雲に覆われてしまった。



地面には霜柱が立っており、気温は 3℃。風が強いので体感温度は氷点下。
地面は霜解けのどろどろ状態で靴底にまとわりつく。



ともあれ、ここが最高点 (1356 m) なので登頂写真を撮った。

10:43



期待していた富士山は見えないし、寒いのでそそくさと山頂駅へ戻り、
11:10発のロープウェー増発便で下山。
山頂滞在時間はわずか40分だった。



ロープウェーから見た白い塊は人工雪。
ここで子供たちを遊ばせること。
人工雪を作るのに大量の水を使うが、芦ノ湖の水は使っていないそうだ。
なぜなら「芦ノ湖は神奈川県にあるが、水利権は静岡県が持っているから。」とロープウェーのスタッフが説明していた。



11:25
箱根園のレストラン街で早めの昼食。
寒いので暖かいラーメンなど。



昼食後、次のバス時刻までたっぷり時間があるので、パン工房に移動してパンとコーヒーでまつたり。

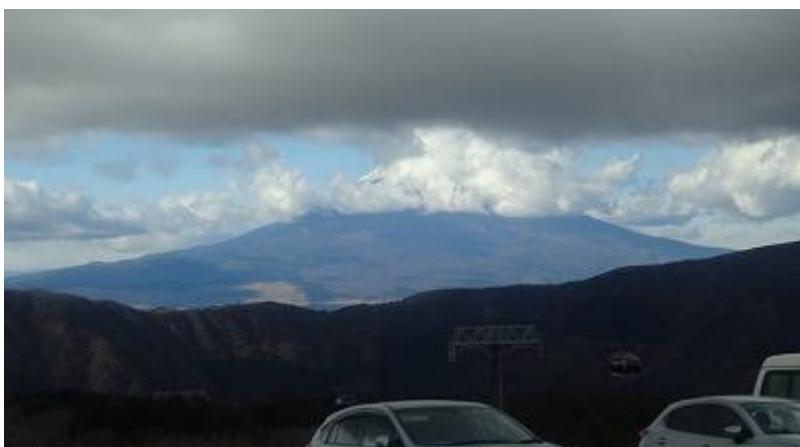




私はその間、ザックをもぞもぞ。
実はザックが安物の粗悪品で、チャックが
壊れてしまい、紐で応急措置をしていた。



12:20 次の目的地、彫刻の森美術館に向か、
バスで定刻に出発。
来た道を 1/3 ほど戻る。
大涌谷駐車場待ちの渋滞にはまり、25 分程
遅れた。



13:05 大涌谷を往路とは逆方向に通過。
再び富士山を撮ったが、やっぱり雲が取れ
ていない。



13:25 バスを 28 分遅れて二ノ平入口で降
り、6 分歩いて 13:31 彫刻の森美術館着。





美術館ではあちこちにある紅葉がちょうど見ごろ。

展示物もさることながら、紅葉に大興奮。



ピカソ館を見たり





いろいろな芸術作品を鑑賞したり、安部さんは足湯に浸かったりもして楽しんだ。紅葉だけでなく山茶花なども見ごろだった。



彫刻の森美術館を 70 分見た後 14:51 バスで移動。15:16 仙郷楼前バス停で降りて歩 8 分



15:24 今夜の宿、フォレスト箱根到着。宿には一足先に直行組の小野寺さんが一番乗りで着いており、2 階のラウンジで会費集めの用意をしていた。



さらに、金時山組の堀さん、池戸さんも着いていた。本来なら堀さん・池戸さんは、お酒類調達場所のココカラファンからタクシーで来るはずだったが、タクシーを待ちきれず、精力も持て余していたので 1.2km を歩いて来たのだそうだ。

「A:金時山コース」、「フォレスト箱根忘年会」、

翌12月8日（日）の「仙石原すすき草原・ガラスの森美術館・小田原おでんランチ」は順次近日公開。